

本表の略記法について

リソースに出現する CodeableConcept 型の要素は以下のような構造をとる。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
n	要素名				0..1	CodeableConcept		文書カテゴリ
n.1		coding			0..*	Coding		表現したいコンセプトのコード記述。 繰り返しにより複数のコード体系によるコーディングで記述できる。
n.1.1			system		1..1	uri	“http:.....”	コード体系。
n.1.2			code		1..1	code	“B0EF”	コード。
n.1.3			display		0..1	string	“持続腹痛”	コード体系におけるコードに対応するの表示名
n.2		text			0..1	string	“長く続く腹部の痛み”	表現したいコンセプトのテキスト記述

しかし、表を見やすくするため、この文書では、これを次のように 1 行で省略表記する。値の欄は、4 つの行(子要素)に使う値を列挙するが、省略することもある。多重度の記載は、1 段目に CodeableConcept 型の要素自体の多重度、2 段目にその子要素 coding の多重度(上表 n.1 の多重度)を転記している。

n	要素名				0..1 0..*	CodeableConcept	“http:.....” “00” “持続腹痛” “長く続く腹部の痛み”	説明
---	-----	--	--	--	--------------	-----------------	---	----

なお、coding の多重度の最小値が 0 (すなわち省略可能) の場合には、コードによる記述をせず、以下のようにテキストだけで記述することも許されている。

表 ImagingStudy リソース 画像検査実施情報

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
1	resourceType						“ImagingStudy”	<b>ImagingStudy</b> リソースであることを示す
2	text				0..1	Narrative		本リソースをテキストで表現したものを入れてもよい。
2.1		status			1..1	code	“generated”	固定値。テキスト内容の全てがリソースのコンテンツから生成されたことを示す。
2.2		div			1..1	xhtml	<div xmlns=“http://www.w3.org/1999/xhtml”>xxx</div>	値は例示。
3	identifier				0..1	Identifier		この検査情報に付番された ID

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
3.1		system			1..1		"urn:oid:..."	付番方法については「識別子名前空間一覧」を参照。値は例示。
3.2		value			1..1		"2020-10-002933"	検査情報 ID の文字列。値は例示。
3	status				1..1	code	"final"	検査結果のステータス。 コード表: "http://hl7.org/fhir/imagingstudy-status" registered   available   cancelled   entered-in-error   unknown など。 登録済み 利用可能 キャンセル済み エラー発生 不明
	modality				0..1	CodeableConcept	"urn:oid:1.2.840.10008.6.1.19" "CT" "Computed Tomography "	画像取得装置区分。 コード表は以下を参照。 <a href="http://dicom.nema.org/medical/dicom/current/output/chtml/part16/sect_CID_29.html">http://dicom.nema.org/medical/dicom/current/output/chtml/part16/sect_CID_29.html</a>
11	subject				1..1	Reference		患者を表す <b>Patient</b> リソースへの参照。
	encounter				0..1	Reference(Encounter)		検査・観察が実施された受診情報（外来受診情報または入院詳細情報）
	started				0..1	dateTime		検査開始(実施)日時

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
	basedOn				0..*	Reference(CarePlan   ServiceRequest   Appointment   AppointmentResponse   Task)		検査リクエストが出された元の情報。 当面未使用。
	refer				0..1	Reference(Practitioner   PractitionerRole)		依頼医情報への参照
	interpreter				0..*	Reference(Practitioner   PractitionerRole)		画像診断医、読影医、解釈医などの情報への参照